

# 湧 愛

編集：安曇野市男女共同参画広報紙編集委員会  
発行：安曇野市・安曇野市男女共同参画推進会議  
事務局：安曇野市総務部人権男女共同参画課  
TEL：(0263) 71-2406  
FAX：(0263) 71-5155

— YOU & I —

## 市制施行10周年記念 「安曇野市男女共同参画フォーラム2015」開催 ～ 共同参画 まず私から 地域から ～

7月11日(土)穂高会館講堂において「安曇野市男女共同参画フォーラム2015」を開催、前副知事 加藤さゆりさんの講演会をはじめ、スマイル・ラボパートアルバイト労働総合研究室代表 赤沼留美子さんを交えたトークセッション(討論集会)、市男女共同参画コミュニケーターによるペープサート(紙人形劇)、男女共同参画に関わるパネル展示が行われ、望ましい地域社会づくりについて考え合いました。

### 講演会

加藤さゆりさんは「女性の力で地域を元気に」をテーマに、男女共同参画についての現状分析を行い、これからの地域社会づくりを考える際、女性の社会参画を進めるための意義や重要性を強調しました。



前副知事 加藤さゆりさん

市の審議会委員や農業委員、職員の管理職などの女性比率や全市で83人の自治会長(区長)の内女性は1人だけという現状について「会長は男性でしょう、という風潮もあるが、女性だから会長になれないというのでは地域にとって損失だ」と、以下の視点から具体的に進めたいと語られました。

- ①地域の男女共同参画の進捗状況について数値化するなどして現状を把握する。
- ②現状を踏まえ、数値目標を設定し、具体的な取り組みをする。
- ③取り組みの進捗状況について確認し、成果を共有する。
- ④停滞している場合は、その原因を共有し、新たな対策を考える。
- ⑤行政、企業、地域一体となって取り組む。
- ⑥現状を踏まえ、行政、企業、地域が、意識してトップダウンで取り組む姿勢も大切である。

加藤さんは、安曇野市の「女性の産業別就業割合 女性の年代別就業率(H22 国勢調査)」「男女共同参画社会に向けての事業所アンケート(H23 実施 回答事業所数 52)」にも触れ、男女共同参画の推進の重要性を訴えられました。

### トークセッション

「これからの働き方をどう考えるか」をテーマに、トークゲストの赤沼さん、加藤さんを中心に行われました。女性も発想力と原動力を持ち独自の力を発揮し自身が輝いていくこと、また、介護・育児などで、男性も含めて、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考えなければならない等の意見が出されました。



市制施行10周年記念事業として挨拶する市長

### ペープサート

女性の公民館長就任をめぐる寸劇で、「役職に生かしてみよう女性の能力」と訴えました。

### パネル展示

ジェンダー(社会的・文化的につくられた性差)やワーク・ライフ・バランスをテーマとした展示を行いました。

## 加藤さゆりさんの講演「女性の力で地域を元気に」の資料から

## ◆安曇野市男女共同参画推進状況 (H26.4.1)

役職名	総数 (人)	うち女 性(人)	女性割 合 (%)	役職名	総数 (人)	うち女 性(人)	女性割 合 (%)
1. 審議会	487	120	24.6	5. 自治会長	83	1	1.2
2. 職員管理職(課長級以上)	61	6	9.8	6. 公民館長	5	1	20.0
3. 農業委員	48	4	8.3	7. 公立小・中学校 PTA会長	17	0	0.0
4. 防災会議	30	5	16.7				

## ◆安曇野市 産業別就業率 年代別就業率 (H22 国勢調査)

産業別	安曇野市		全国	
	女性(%)	男性(%)	女性(%)	男性(%)
第1次産業	8.3	9.0	3.7	4.2
第2次産業	18.7	34.9	14.3	30.7
第3次産業	67.5	50.5	76.2	59.2

「第2次安曇野市男女共同参画計画」より

\*全国平均と比べると、女性の第1次産業、第2次産業の就業割合が高い。農業や製造業などで働く女性の就労環境等について考えていく必要性が全国より大きい。\*女性の年代別就業率は、20代から50代までの各年代共に7～8割前後あり、全国平均を1割程度上回っている。\*H2～22年の20年間で、30～34歳の就業率が上昇している。

## ◆事業所の状況

## 「安曇野市男女共同参画社会に向けての事業所アンケート」(H23 実施 回答事業所数 52)

項目	実 態
男女ともにある制度	「週休2日制」66% 「短時間勤務」49%
女性のための制度	「妊娠中の仕事軽減」「セクシャルハラスメント相談」がともに4割強の事業所で実施
育児休業取得の状況 (単年度)	雇用者数 (男性 3,638人) (女性 2,191人) 育休取得者 (男性 6人) (女性 41人) 取得率 (男性 0.16%) (女性 1.87%)
女性の管理・監督職(係長相当職以上)の割合	女性99人(男性465人) 17.6%

## 安曇野市男女共同参画フォーラム2015 参加者の感想・意見

参加者の皆様から様々な視点からの感想・意見をいただきました。これらの感想・意見を共有し、次へのステップにしていくため、まとめました。

## ◆講演内容について

・具体的なデータに基づいた講演でわかり易く、現在の政府の方針・県の政策などよくわかった。

## ◆フォーラムから見えてきた課題

- ・男女共同参画が進展しない現実を踏まえ、女性の参画・推進役(当て職でなく)が必要である。
- ・地域、市民の人権意識・人権感覚を高め男女共同参画の理念の浸透を図り、意識改革を図る。
- ・地域や職場のあり方を考え、女性が働きやすい環境づくり(保育園・介護・子育てなど)を進める。
- ・公民館長、PTA会長に女性がならないのは、男女の意識にも問題がある。

## ◆課題解決に向けて

- ・男女共同参画に関わる現状分析をし、数値目標(基礎データ)を据えて取り組む。
- ・女性が活躍している場を紹介するなどして、意識化を図る。
- ・地域、行政、職場等は、女性の視点を活かす努力をし、積極的に役職に女性を登用する。
- ・将来的展望に立って、採用時から女性を増やすなどして、人材の育成を図っていく。
- ・ワーク・ライフ・バランスについての理解を深める。
- ・今後一層進展するために、トップダウンも必要である。(市長、各地域、団体等の長など)

\* アンケートの中に、「地域の役員を受け持っているが、自信をもって進みたい。(女性)」と自身の活動への自信と意欲を持った感想や、「男性と女性の物理的な違いもあり、形や表面的な均等化は無理ではないか。(男性)」といった意見もありました。

## 地域を照らす

### 「人と自然の繋がる居場所づくり」(明科地区)

明科の望月美輪さん(42歳)は、夫・長女・義母との家族4人の生活の傍ら、福祉関係の仕事をしていた経験を活かし、生活地域に根差した垣根の無い居場所づくりを目指して、NPO法人「グランド・リッシュ(注1)」の建物を自宅敷地内に設け、その理事長として、理事や他の方々と一緒に就労支援

を含めた様々な活動を続けています。

子供・障がい者・高齢者等年齢制限の無い、制度的な枠組みを無くした居場所づくりを目指し、その活動の輪の拡がり、多くの支援者と協力を得、居心地の良い雑貨屋「ル・ポア(注2)」という素敵な雑貨や芸術的な委託作品の展示販売のお店をオープンさせました。

月替わりメニューのお茶を頂き、おしゃべり出来る雑貨屋さんのお店番は、社会との関わりの経験を重ねたい方などにお任せしています。美輪さんは、「ル・ポア」の代表者として、自分らしい生き方の自信づくり・社会に出るためのひとつの空間・人と自然を繋ぐ居場所の提供と運営全般を担っています。



ル・ポア店内での美輪さん

また、生活・就労・不登校・依存症・その他の悩みに寄り添うための若者相談「ディルセ(注3)」の代表者・相談員もしています。

「ル・ポア」の階上には、12歳以下の子供たちの絵を通してコミュニケーションを図り、作品の商品化などを試みる場所、子供の絵の教室「クラー(注4)」があり、その代表者・指導員も兼ね、大きな夢の実現化を進めています。

多面的に「人と自然が繋がる居場所」をのぞきに、皆さんも立ち寄ってみませんか。

注1:「グランド・リッシュ」=フランス語で『どんぐりで心豊かに』 注2:「ル・ポア」=フランス語で『小さな森』

注3:「ディルセ」=フランス語で『心から』 注4:「クラー」=フランス語で『絵の具』

### 「拾ヶ堰景観形成プロジェクト」(豊科地区)

「拾ヶ堰景観形成プロジェクト」は2007年に発足し、中萱の「じてんしゃひろば」の植栽、草取り作業を続けています。作業をしている皆さんに、質問をしてみました。

- 発足当時はどうでしたか? 最初は、少人数で始めました。雑草が身の丈程も伸び放題、荒れ放題で、また堰の底には大・小の石がゴロゴロでとても大変でした。
- 植栽している種類は? 芝桜5,000株、ジャーマンアイリス1,000株、松葉菊1,000株です。
- 距離はどの位ありますか? 200m位です。
- 現在何人位が参加していますか? 区長や市民有志で結成し、現在は男女合わせて20人位です。
- ご家族の理解はいかがですか? 月2回早朝2時間の作業ですが、配偶者の理解も得られ協力し合っている為か、気持ち良く作業に行くことができます。
- 安曇野の新たな景観スポットとして定着していますが感想は? 嬉しく思います。早朝の作業は大変ですが、作業の後は気分爽快です。また、お茶タイムでは次回の計画や世間話もできて楽しく、皆が持ち寄った漬物や手作り菓子で飲むお茶は、格別に美味しいです。

以上簡単に感想を聞いてみました。

地域内で男性・女性と決めることなく、自然体で疲れないように活動したいものです。

1816年開削の拾ヶ堰は、来年200年の節目を迎えます。

市民の皆さんが憩える場所になる様、また、地域に根ざした男女共同参画社会づくりを願っています。



早朝作業に取り組む皆さん

## 女性公民館長誕生！？

7月11日(日)安曇野市男女共同参画フォーラム  
において発表されたペーパーサートの一部です

○ここは公民館です。今日は、区の公民館長を決める会議です。区長さんが座長で常会長などが集まっています。

区長 「皆さん、ご苦労さまです。先日お願いした公民館長に各常会で推薦する人、ありましたかねえ。」

A 「うちの常会は、年寄りばかりでいないだね。」

B 「若い人は仕事が忙しくて、なかなか手がないです。」

区長 「今まで、公民館長は男性がやってきたけど、この際女性にやってもらうのはどうですか？」

C 「そりゃあいいね。男女共同参画の時代だし……。第二次安倍内閣では女性大臣が入ったし、安倍さんも女性の輝く社会を目指すって言うてるよ。」

A 「そうそう、だいたいPTAでも実際に仕事するのは女性なのに、会長が男ってのは変だよな。」

B 「公民館だって、敬老会なんか女性部がほとんど仕事しているのに、挨拶は男ばかりだしね。」

C 「安曇野さん、ちょうど今日出てきたんだし、どうだい。やってくれないかい。」

B 「そうだ！俺も奥さんがいいと思うよ。」

安曇野 「えっ？私は今日は、主人の代理で来たんですけど。」

区長 「公民館の事業は、みんなで助け合ってやることが多いから、女性の能力を大いに活用して、みんなで出来ることを協力してやっていくのがこれからの社会じゃないでしょうか。」

A 「いいねえ。私は賛成！」

B 「みんなで協力しますよ。」

安曇野 「そうですか。いつまでも決まらないのも嫌ですねえ。やってみましょう。」

「役職に生かしてみよう、女性の能力」



黄金色の稲穂が  
安曇野を彩る季節  
となりました。

「湧愛」第2号を  
お届けします。

私達は、男性も女  
性も共に認めあい、

支えあう男女共同参画をめざして学習を重ねて参りました。少子高齢社会が進展する現在、結婚、出産後も女性がその能力を活かして働き続ける環境づくりが必要だと言われています。国でも安倍総理の、「女性の活躍なくして日本の発展はない」との発言もありました。しかしながら、まだまだ性別による役割分担や偏見などが残っています。

共同参画のキーワードは“男女が共に”です。男女にこだわらず家庭・地域・職場においてまず一人ひとりが共同参画の意義を理解して活躍を深めていくことが大切ではないでしょうか。むずかしい理論ではなく、自分ができることをする一そして、人と人との絆を大切に大勢の力を結集し、住みやすい、住んで良かったと言われる地域づくりのためにも、足元から生活を見直し、男女共同参画社会が一層進むよう努めてまいります。  
(編集室)

### 安曇野市男女共同参画カルタ

昔から  
こうしてきたと  
威張る男(ひと)

のびのびと  
意見が言える  
参画社会

家事育児  
夫婦で協力  
乗り越えて

**NEWS** 平成27年9月4日、女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が施行されました。これにより、平成28年4月1日から、労働者301人以上の大企業は、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが新たに義務づけられることとなります。